

## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年10月25日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社カイノス

コード番号 4556 URL <http://www.kainos.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 上地史朗

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長

(氏名) 黒谷理

TEL 03-3816-4123

四半期報告書提出予定日 平成23年11月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	2,272	3.0	73	△36.1	70	△35.9	35	34.5
23年3月期第2四半期	2,206	10.2	115	72.5	110	100.6	26	68.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	8.06	—
23年3月期第2四半期	5.99	—

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	5,593		2,699			48.3
23年3月期	5,788		2,696			46.6

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 2,699百万円 23年3月期 2,696百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	7.50	7.50
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	7.50	7.50

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,710	1.5	215	△4.4	196	△10.2	109	45.5	24.59

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	4,558,860 株	23年3月期	4,558,860 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	106,338 株	23年3月期	105,753 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	4,452,620 株	23年3月期2Q	4,453,193 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は添付資料の2ページを御参照ください。

## 添付資料の目次

		頁
1	当四半期決算に関する定性的情報 .....	1
	(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	1
	(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	1
	(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	2
2	サマリー情報(その他)に関する事項.....	2
	(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	2
	(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	2
3	継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	2
4	四半期財務諸表等 .....	3
	(1) 四半期貸借対照表 .....	3
	(2) 四半期損益計算書 .....	4
	(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	5
	(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	6
	(5) セグメント情報 .....	6
	(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における我が国経済は、3月に発生した東日本大震災と原発事故被害からの復旧を目指し、緩やかな回復の途上にあります。完全に復興するまでには、まだまだ長い時間を要するものと思われます。また、国内の企業業績や個人消費及び雇用情勢についても、依然、足踏みの状態が続いており、その先行きについては、不透明な状況にあります。

為替相場及び株式相場におきましては、米国経済の低迷並びに欧州の財政問題などの世界的な景気後退懸念などから円高や上値を抑えられる状況で推移しており、今後における企業収益への影響が懸念されるところであります。

このような状況の下、当第2四半期累計期間の売上高は、22億7千2百万円(前年同期比3.0%増)となりました。検査分野別で見ると、生化学分野におきましては、前事業年度に引き続き好調な推移を示したことにより7億5千万円(前年同期比7.9%増)となりました。免疫分野におきましても、アレルギー診断薬が引き続き好調な伸びを示したことにより14億6千万円(前年同期比5.5%増)という結果になりました。また、その他の分野におきましては、前第2四半期累計期間に発生したロイヤリティの契約一時金の減少により、6千1百万円(前年同期比50.8%減)となりました。

このような状況から、営業利益及び経常利益につきましては、それぞれ7千3百万円(前年同期比36.1%減)7千万円(前年同期比35.9%減)となり、四半期純利益においては、3千5百万円(前年同期比34.5%増)となりました。

#### 検査分野別売上高

(単位：千円)

区 分	期 別	前第2四半期累計期間 〔自平成22年4月1日 至平成22年9月30日〕		当第2四半期累計期間 〔自平成23年4月1日 至平成23年9月30日〕	
		金 額	構成比	金 額	構成比
製 品	生化学的検査用試薬	654,811	29.7	706,650	31.1
	免疫血清学的検査用試薬	189,190	8.6	154,688	6.8
	そ の 他	107,027	4.9	50,667	2.2
	計	951,029	43.1	912,005	40.1
商 品	生化学的検査用試薬	41,144	1.9	44,094	1.9
	免疫血清学的検査用試薬	1,195,219	54.2	1,305,408	57.4
	そ の 他	18,795	0.9	11,268	0.6
	計	1,255,159	56.9	1,360,771	59.9
合 計	生化学的検査用試薬	695,955	31.5	750,744	33.0
	免疫血清学的検査用試薬	1,384,409	62.8	1,460,097	64.2
	そ の 他	125,823	5.7	61,935	2.8
	計	2,206,189	100.0	2,272,777	100.0

- (注) 1. 金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。  
2. 数量については、取扱品目が多岐にわたり数量表示が困難なために記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期会計期間末の総資産の額は、55億9千3百万円となり、前事業年度末と比べ1億9千5百万円の減少となりました。その主な内容は次のとおりです。

流動資産は、22億4千7百万円となり、前事業年度末と比べ2億6千2百万円減少いたしました。その主な要因は、受取手形及び売掛金の回収が進んだことにより2億4千8百万円及び借入金の返済並びに配当金の支払いなどにより現金及び預金が3千3百万円それぞれ減少する一方、商品及び製品が4千7百万円増加したためです。

固定資産は、33億4千5百万円となり、前事業年度末と比べ6千6百万円の増加となりました。有形固定資産は、前事業年度末と比べ8千4百万円の増加となりました。その主な要因は、減価償却の進捗による一方、笠間事業所の建物改修工事4千8百万円及び製造設備の増改築工事3千2百万円並びに製造用機械装置4千9百万円の投資等を行ったことによるものです。

無形固定資産は、6千2百万円となり、前事業年度末と比べ1千6百万円の減少となりました。これは、主に基幹業務に係るソフトウェアの償却が進んだためです。投資その他の資産は、4億1千6百万円となり、前事業年度末と比べ1百万円の減少となりました。これは、主にリース債権の減少によるものです。

負債の額は、28億9千3百万円となりました。

流動負債は、23億3千万円となり、前事業年度末と比べ1億3千1百万円の減少となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金が1億4百万円、短期借入金3千5百万円及び未払法人税等2千5百万円並びに賞与引当金3千6百万円が減少した一方で、その他(主に設備投資による未払金)7千万円の増加によるものです。

固定負債は、5億6千2百万円となり、前事業年度末と比べ6千6百万円の減少となりました。その主な要因は、長期借入金6千2百万円及びリース債務4百万円の減少によるものです。

当第2四半期会計期間末の純資産の額は、26億9千9百万円となり、前事業年度末と比べ3百万円の増加となりました。主な要因は、配当金3千3百万円の支払いを行った一方で、四半期純利益3千5百万円を計上したことによるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は7億3千4百万円となり、前事業年度末と比べ3千3百万円の減少となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により増加した資金は、1億2千4百万円(前年同四半期は1億2千3百万円の増加)となりました。その主な要因は、法人税等3千9百万円、たな卸資産の増加4千2百万円、仕入債務の減少1億5百万円、賞与引当金3千6百万円などにより資金が減少したものの、その一方で、売上債権の減少2億4千8百万円、減価償却費の計上7千3百万円及び税引前四半期純利益7千万円などにより資金が増加したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は、1千7百万円(前年同四半期は3千2百万円の支出)となりました。その主な要因は、製造機器並びに設備の増改築等1千8百万円を実施したことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出した資金は、1億4千万円(前年同四半期は6千4百万円の支出)となりました。その主な要因は長期借入による収入2億円の方、配当金の支払3千3百万円及び長期借入金の返済2億9千8百万円によるものです。

(3)業績予想に関する定性的情報

今後の国内経済は、原発事故による国内多業種への影響及び欧米諸国の財政問題と雇用環境低迷を背景とした株式市場と為替相場への影響懸念から、企業収益の回復と雇用環境の改善については、依然、不透明な状況で推移するものと思われます。臨床検査薬業界におきましても、医療費政策や企業間競争の影響により経営環境は、ますます厳しさをましていくものと思われます。

通期業績につきましては、平成23年5月10日付「平成23年3月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」でお知らせした予想の見直しは行っておりません。

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,008,515	974,867
受取手形及び売掛金	1,129,684	881,620
商品及び製品	122,481	170,238
仕掛品	54,142	50,871
原材料及び貯蔵品	117,798	115,662
その他	80,462	57,470
貸倒引当金	2,900	2,900
流動資産合計	2,510,185	2,247,831
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	781,865	837,370
土地	1,851,453	1,851,453
その他(純額)	148,893	178,035
有形固定資産合計	2,782,211	2,866,859
無形固定資産	78,441	62,286
投資その他の資産	417,831	416,156
固定資産合計	3,278,484	3,345,302
資産合計	5,788,669	5,593,134
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	903,886	798,946
短期借入金	1,141,030	1,105,690
未払法人税等	46,000	20,875
賞与引当金	94,668	58,068
その他	276,494	346,836
流動負債合計	2,462,079	2,330,417
固定負債		
長期借入金	507,630	444,900
その他	122,276	118,042
固定負債合計	629,906	562,942
負債合計	3,091,985	2,893,359
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	831,413	831,413
資本剰余金	928,733	928,733
利益剰余金	1,021,339	1,023,819
自己株式	89,910	90,056
株主資本合計	2,691,575	2,693,909
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,108	5,865
評価・換算差額等合計	5,108	5,865
純資産合計	2,696,684	2,699,774
負債純資産合計	5,788,669	5,593,134

( 2 ) 四半期損益計算書  
( 第 2 四半期累計期間 )

( 単位 : 千円 )

	前第 2 四半期累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日)	当第 2 四半期累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)
売上高	2,206,189	2,272,777
売上原価	1,426,107	1,536,184
売上総利益	780,081	736,592
販売費及び一般管理費	664,744	662,949
営業利益	115,336	73,643
営業外収益		
受取利息及び配当金	5,517	5,306
為替差益	1,625	242
受取賃貸料	4,636	2,305
その他	2,749	5,201
営業外収益合計	14,528	13,055
営業外費用		
支払利息	14,960	12,133
手形売却損	248	380
賃貸費用	2,849	1,825
その他	1,672	1,813
営業外費用合計	19,731	16,153
経常利益	110,133	70,545
特別利益		
投資有価証券売却益	4,357	-
特別利益合計	4,357	-
特別損失		
固定資産売却損	-	54
固定資産除却損	7,431	12
投資有価証券評価損	51,565	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	3,600	-
特別損失合計	62,596	66
税引前四半期純利益	51,895	70,478
法人税、住民税及び事業税	43,420	15,800
法人税等調整額	18,200	18,800
法人税等合計	25,220	34,600
四半期純利益	26,675	35,878

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	51,895	70,478
減価償却費	68,926	73,146
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	3,600	-
売上債権の増減額(は増加)	76,250	248,064
たな卸資産の増減額(は増加)	9,379	42,350
仕入債務の増減額(は減少)	77,750	105,490
投資有価証券評価損益(は益)	51,565	-
その他	3,898	73,604
小計	169,005	170,243
利息の支払額	14,790	11,085
法人税等の支払額	36,210	39,947
その他の収入	5,406	5,226
営業活動によるキャッシュ・フロー	123,410	124,436
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	40,852	18,447
有形固定資産の売却による収入	-	274
定期預金の預入による支出	100,000	-
定期預金の払戻による収入	100,000	-
投資有価証券の売却による収入	8,800	500
その他	26	176
投資活動によるキャッシュ・フロー	32,026	17,497
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	100,000	-
長期借入れによる収入	200,000	200,000
長期借入金の返済による支出	124,550	298,070
配当金の支払額	33,636	33,154
その他	6,159	9,355
財務活動によるキャッシュ・フロー	64,345	140,580
現金及び現金同等物に係る換算差額	10	7
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	27,028	33,648
現金及び現金同等物の期首残高	663,745	768,515
現金及び現金同等物の四半期末残高	690,774	734,867



(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

当社は、臨床検査薬の製造及び販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。